

保存版

設立20周年記念

シルバー きづがわ 臨時号



重ねた年輪

生かそう地域へ



公益社団法人

木津川市シルバー人材センター



公益社団法人木津川市シルバー人材センターの設立20周年記念式典が2月5日午前10時30分からいずみホールで開催されました。当初5月の総会と同時に開催する予定でしたが一旦延期となり、今回も緊急事態宣言下となりましてので通常スタイルでの開催は難しく、感染防止策を徹底したうえで被表彰者と役職員のみでの開催となりました。お陰をもちまして滞りなく式典を終えることができました。ありがとうございました。

理事長 藤原 滋之 式辞



本日は、ご出席いただき誠に有難うございます。本来ならば昨年の総会時に合わせて記念式典を行い、市長様をはじめ近隣のシルバー人材センター等、来賓の方々もお招きする予定でしたが叶いませんでした。顧みますと、平成12年に木津町・加茂町のシルバー人材センターが発足し、その3年後に山城町のシルバー人材センターが発足、平成19年に木津川市が誕生したのに伴い3町のシルバー人材センターも統合し、木津川市シルバー人材センターとして再スタートしたものであります。爾来、多くの諸先輩方や事務局職員のご努力をいただき、会員数450名、契約金額2億3千万円余りまでに至りましたが、まだ十分とはいえません。

20周年を迎えやっとな成人といえますか、大人の仲間入りです。30周年・40周年を迎えておられる先進のセンターを一步一歩追いかけていくのみであります。

会員増強や市場開拓がなかなか進まない中、毎年同じことの繰り返しでは進意はありませぬ。常に問題意識を持ち、改善を積み重ねていかねばなりません。そこで、来年度は、「空き家サポート業務」をスタートする予定であります。いずれにしても地域社会から信頼されることが第一であり、このためには会員の知識・技能と接客等のレベルアップを図ることが重要課題であります。微力ではありますが、会員の皆様と共に役職員が一丸となり邁進する所存であります。本日出席の皆様方のお力添えをお願いいたします。

本日は、理事として永年センターの運営にご尽力をいただいた功労者、10年、20年とご努力いただいた会員の皆さん、設立時から事務局職員として日々活躍・礎を築いてくれた職員の方々に心から感謝を申し上げます。

記念式典へのメッセージ (抜粋)

木津川市長 河井 規子



この度は公益社団法人木津川市シルバー人材センター設立20周年記念式典の開催誠にありがとうございます。また、本日の功績を表彰される皆様におかれましては永年のご功績に対しまして敬意を表しますとともに重ねてお祝い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症により少子高齢化が加速すると言われており、シルバー人材センターの会員の皆様に様々な形で社会を支えていただくことがますます重要になってくるものと考えております。

市といたしましては、人生100年時代を見据え、引き続きシルバー人材センターの運営を支援して参りたいと考えておりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



木津川市議会議長
山本 和延

木津川市議会を代表して、一言お祝い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、これまで誰も経験したことのない規模で社会に甚大な影響をもたらし、その感染は今もなお、とどまることなく拡大を続けているところです。

市議会としても、市と連携を図りながら、市民の皆様の生命と生活を守るため、全力で取り組んでまいります。

さて、我が国は世界有数の長寿国となり、まさに人生80年時代が現実のものとなったことは、誠に喜ばしい限りであります。しかし、高齢者の方々が、豊かでゆとりある生活を過ごすために、高齢化社会へ対応した社会施策が、何にもまして重要な課題となっております。

設立以来「高齢者の社会参加、生き甲斐提供の場」として、シルバー人材センターが今日まで果たしてこられた役割と成果は誠に大きく、意義深いものがあり、今後の更なる飛躍を期待しています。

今日まで積み重ねてこられた知識や技能を活かし、社会に貢献されることを期待します。

山城広域振興局長
川口 龍雄

設立20周年を迎え、記念式典が開催されたことを心からお喜び申し上げます。

平成12年に設立されて以来、高齢者の方が豊かな経験や知識を活かして働ける社会の実現のための中核的組織として、会員増強や就業機会の確保、安全就業の徹底に取り組み、平成19年に現在の木津川市シルバー人材センターに統合されてからも、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、環境の変化に対応したセンター機能の拡充・強化を図り、この20周年を機に、さらなる事業展開で、ますます飛躍されることを期待しています。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、京都府内の経済は依然として厳しい情勢が続いていますが、悪化した中小企業の経営の継続や、雇用の維持等経済・雇用対策に全力を挙げて取り組んでいます。

今後とも府内市町村や関係団体と連携し、「オール京都」で活力ある地域社会づくりに取り組みますので一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

京都府シルバー人材センター
連合会会長 石黒 善治

京都府内のシルバー人材センターを代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。

平成12年4月の設立以来、会員の社会参加と生きがいの充実を図り、地域社会の活性化に取り組みられた努力に深く敬意を表します。

少子高齢化が急速に進み労働力人口が減少し、働く意欲のある高齢者が活躍し続けられる「生涯現役社会」の実現が求められ、会員の希望に応じながら地域に密着した仕事を提供するシルバー人材センターの役割はますます大きくなってきています。

コロナ禍の影響により日常生活や社会活動に様々な変化が生じていますが、これからも地域社会に欠かせないものとして存在感を増し、地域社会の中で活躍いただけるよう、更なる事業の推進を期待します。

ご丁寧なるメッセージ・祝電をいただき誠にありがとうございました。

20年のあゆみ

平成12年	木津町・加茂町シルバー人材センター設立
平成15年	山城町シルバー人材センター設立
平成19年3月	木津町、加茂町、山城町が合併し 木津川市が誕生
平成19年8月	加茂町・山城町シルバー人材センター解散
平成19年9月	木津川市シルバー人材センターがスタート (木津町シルバー人材センターが存続センターとなり3町のシルバーも統合)
平成23年4月	公益社団法人として認可される。



おめでとうございます



功労のあった方々を表彰



多年にわたり役員として当センターの発展に
多大な貢献をされた特別功労者の方々に表彰
状と記念品が授与されました。

田村 誠造
宮本 正範
福井 智

(敬称略・順不同)

会員表彰(登録期間10年)



狭川 嘉一
田中 正司
津高 充明
稲田 浩人
三浦 カヨ子
小里 茂明

山口 義雄
山崎 信行
浅野 和彦
福岡 章嗣
鈴木 美知子
荒堀 清美

(敬称略・順不同)



表彰を受けられた皆さん

会員表彰（登録期間20年）



矢野 正臣
 上治 育子
 宮本 良一
 井久保 徳朗
 山本 福
 吉田 堯

（敬称略・順不同）

最優秀作品賞

スローガン

ロゴマーク

『重ねた年輪
 生かそう地域へ』

中岡 新次郎

（敬称略）



古木 俊信

（敬称略）



選出されたロゴマーク・スローガンは、広報活動などさまざまな場面で使用させていただきます。

被表彰者を代表して田村誠造様が謝辞を述べられました。

設立20周年記念式典おめでとございます。受賞者を代表してお祝い申し上げますと共に、この節目の年に表彰を受け、一同喜びに堪えませ

ん。私事ではありますが、平成14年当時「人生80年」を目指し加茂町シルバー人材センターに入会し、今日まで通算19年約4分の1の人生にわたり多くの仲間と楽しい第二の人生を送らせていただき、感謝しています。

限りある人生、健康に留意し、明るく、楽しく、元気よく送りたいものです。



表彰を受けられた会員様から ひ・と・こ・と

20年を振り返り

吉田 堯

私が入会したきつかけは、定年を迎える年に隣家の初代加茂町シルバー人材センター長になられた柳澤様や山本様から設立のお話を伺ったことでした。

何の仕事ができるか分からないまま入会し、いくつか仕事の紹介も受けましたが、趣味の写真やドライブを優先して、ずつとお断りしていました。

そんなとき、襖、障子、網戸の修理のお話があり、これならカレンダーの空きにできるかと考え、受けることにしました。

2日間ほど教えてもらい、仕事を始めましたが、なかなか思うようにはできず、試行錯誤の日々でした。そのうち、形だけはどうなるようになり、今日に至っています。

他にもお茶刈りやガレージ修理等してきて、5年位前から剪定も手掛けるようになりました。これからも仕事、趣味、と体力の続く限り頑張っていこうと思っております。



入会して10年を経て

田中 正司

私は障害者、右手指が四本ありません。初仕事の時は、自分の役割を果たせるか不安でしたが、班の人たちに気さくに話し掛けてもらい、公園でのガリガリのやり方を教えて頂き、なんとかやれそうと、安堵したのは忘れられません。

ガリガリとは草刈機が届かない場所、植え込みの中、草刈り機を使用してはダメな所刃先で傷がつくタイル、レンガ等敷き詰めた目地に生えた草を鎌等を使い引き抜くことです。これが手間の掛かる仕事で、

丁寧さと根気がいります。丁寧な仕事こそがシルバーのやり方と教えられ納得、今日までのモチベーションです。

今では公園をはじめ、遺跡公園、水道局関係、市道の除草班の一員を担い何事もできると自負しています。

これからもコロナに負けず、ボケ防止、健康のため、孫たちにいいじいちゃんであるため、みんなと楽しく助け合いつながりながら、まだまだ頑張りたいものです。



ロゴマークに乗せた想い

古木 俊信

多様なニーズに応じた就業の機会を供給し、高齢者の生きがいや生活の充実を図ると共に、活力ある地域社会を作り出すことを目的としているシルバー人材センターの「K」「S」「C」を基本に木津川市の「K」を合わせた3文字を、シンブルで視認性が高く様々な用途に対応できるように「KSC」として三次元化しました。

今後末永くセンターのシンボルとして、会員、市民から親しまれ愛されるロゴになってほしいとの思いを込めました。

スローガンに込めた思い

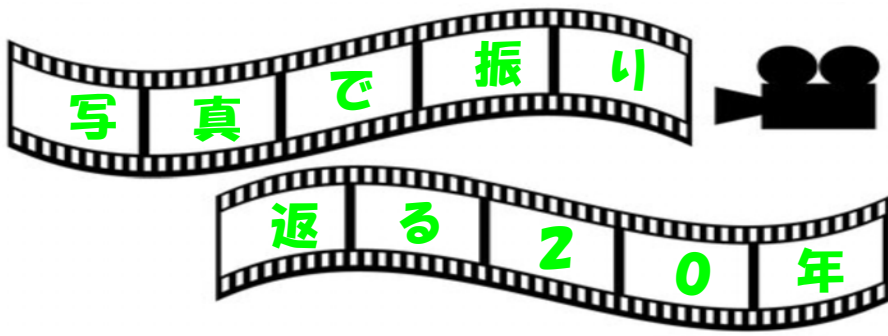
中岡 新次郎

『重ねた年輪』

長く生きていくと技術や知識・経験など蓄積されます。そのまま埋もれさせておくのは勿体ない。こんな私でも、少しはシルバーでできることがあります。何ができてくるか？年の功とやる気だけでも十分できます。

『生かそう地域へ』

公園の管理など地域の美化で住みよい街にしよう。支援が必要な高齢者の手助けになろう。誰の為でもありません。未来の自分の為に。体を動かして、収入を得て、地域のためになる。そんな思いで作ったスローガンです。



事務局だより

センター職員も、20年勤務した3名を表彰しました。

西野 美佐子
小川 博
岩井 嘉之

(西野)
20年も仕事を続けてきたなんて信じられません。入った時は、まだ30歳代：だったのに。定年まで後少しとなりましたが、皆さんと楽しく頑張らせていただきました。



(小川)
気が付けば20年、入社当初と比べれば公私ともに環境も変わり年月を感じます。まだまだ未熟ではございますが、これからも会員の皆様と共に頑張らせていただきますので、宜しく願います。

(岩井)
20年頑張らせていただきました。これからも引き続き、会員の皆様と地域のために貢献させていただきます。



お陰を持ちまして、滞りなく式典を終えることができました。
ありがとうございました。

現在の事務局職員



事務局長	中野 嘉友
事務局次長	西野 美佐子
業務課長	小川 博
業務係長	岩井 嘉之
業務主任	畑内 勉
尾崎 悟	
森西 明美	
給与・庶務担当	山本 美奈子

会員の皆様へ

設立20周年記念の記念品を全会員様にお渡しします。まだ取りに来られていない会員様は、お手数ですが各本・支所まで来ていただくか、ご無理な場合はその旨をご連絡いただきますようお願いいたします。

木津本所 72-6690
加茂支所 76-2236
山城支所 86-3567



編集後記

設立20周年おめでとうございます。これまで御尽力された先輩会員、職員の皆様永年表彰お祝い申し上げます。さて、二度目の緊急事態宣言下、新型コロナワクチン接種が開始されました。収束に向かう事を期待しますが、コロナ以前に戻るにはかなりの時間を要すると専門家が言っています。収束に至るまで会員の皆様においては、予防策徹底の程よろしくお願いいたします。